

寺井紗知子 議員

袋井駅南地区の土地利用は

問 袋井駅と高南地区を結ぶ「自転車歩行者道」については、これまでにワークシヨップや意見交換会などを実施してきた。平成20年には「袋井駅南地区公園自転車歩行者専用道路基本構想」を策定したが、その後の状況を伺いたい。

答 来年、用途地域の拡大にあわせて策定する地区計画の中で、位置づけを明確にしていきたい。

問 秋田川流域の治水対策をどう進めていくのか。

答 JR東海道本線北側は、原野谷川への放水路の調査設計を、来年度実施していく。新幹線北側は、田端東調整池の拡充と袋井駅南口広場への地下調整池を整備していく。また新幹線南側はポンプ排水と調整池による貯留を基本とし、具体的な規模、整備時期は今後検討する。



治水対策の必要性がある駅南地区

ホームページの充実は

問 公民館、歴史文化館など公共施設のホームページの充実や、広報ふくろいの電子ブック化の実施はどうか。

答 公民館のホームページは基本コンテンツを市で作成したり、歴史文化館等は、より簡単にアクセスできるよう検討したい。広報ふくろいの電子ブック化については、平成24年度中に試行したい。

寺井雄二 議員

津波に対し浅羽南地域の

安全安心を

問 津波対策多重防御として、150号バイパスについて、掛川市と協議し、国・県に対し要望すべきと思うがどうか。

答 津波に対する防災の視点を考慮した道路整備などを、期成同盟会により要望している。今後、関係市・期成同盟会と連携を図る中で、早期整備を目指していきたい。

未来に続く津波安全道路

問 150号バイパスまたは湊中新田浜道線をかさ上げして、第二防潮堤としていくことが必要と考えるがどうか。

答 国から発表される津波の規模等により、道路の高さ、強度を検討していきたい。さらには并財天川の防潮堤強化など、様々な多重防御策を研究していきたい。

学校給食に

地産地消の推進を

問 各種生産者と作付け協定を結び、安定供給につなげるため、農協等と協議会を設けることはできないか。

答 生産者と給食センターを結ぶ組織の構築や、供給ルートの確保などが必要と考えることから、JAや市内の生産者組合、食材納入業者等と一体となり、供給できるシステムを構築していきたい。



道路のかさ上げが希望される湊中新田浜道線（同笠海岸交差点）